第 22 号　2021 年 9 月吉日発行

JA香川厚生連 滝宮総合病院 広報誌

たきのみや

NO. 22

当院は日本医療機能評価機構認定病院です

～Contents～

診療科紹介　整形外科紹介
病院トピックス　そのおなかのふくらみ もしかしたら脱腸？
新任医師紹介　新任医師紹介
お薬コラム　糖尿病について
リハビリプログラム　嚥下体操

■病院理念

私たちは地域の中核病院として安全・安心な医療を提供し、皆様から信頼され支持される病院をめざします

整 形 外 科 紹 介

病院長補佐　山下　泰司

整形外科は、怪我などの急性疾患から骨粗鬆症などの慢性疾患まで、子供からお年寄りまで、幅広く対応しています。手術では一般的な骨折治療や関節鏡手術に加え、特に手の外科、下肢変形性関節症に力を入れています。手の外科に関しては、腱鞘炎に対する腱鞘切開や手指の腫瘍切除、手根管症候群などの神経絞扼に対する除圧といった比較的一般的な治療から、腱移行や関節形成、指の人工関節といった手指の機能再建、手術用顕微鏡を用いたマイクロサージャリーなどの専門性の高い手術まで対応しております。

下肢変形性関節症に対しては保存療法に加えて、患者様の状況に合わせて適切な時期での人工関節手術を提案しています。近年、人工関節手術は全国的に増加傾向にあり様々な医療機関で手術が行われていますが、患者様にとって人工関節は一生ものであり、長期間に渡り安心して使用出来るような手術を行うことが最も重要と考えます。そのため、正確な設置であること、より安全であることを何よりも重視して、丁寧な手術を心がけています。また、麻酔科医師の協力を得て、手術後の痛みや出血が少なく満足度の高い手術を行うようにしています。手術後はリハビリテーション科と連携し早期回復・社会復帰に向けて積極的にアプローチを行っています。

年間の手術件数は 300 件を超えて増加傾向です。

皆様の活動性や日常生活の質を向上するため、常に適切な治療を提供していきたいと考えておりますので、お困りの点があれば気軽に受診してみてください。

そのおなかのふくらみ、もしかして脱腸？

外科医長　阪部　雅章

皆様のなかで、おなかの足のつけ根あたりが少しふくらんでいる方はいませんか？
もしかしたら、それは「**脱腸**」かもしれません。

「**脱腸**」というのは正式には「**鼠径（そけい）ヘルニア**」といいます。臓器の一部が体の中にあるすき間を通って、本来の位置から飛び出た状態にあることを「**ヘルニア**」といい、その中でも足のつけ根あたりから腸や内臓脂肪がとび出た状態を「**そけいヘルニア**」といいます。生まれつきすき間が大きい方もいれば、腹筋が弱くなってすき間が大きくなる方もいます。
症状としておなかに力を入れるとふくらみ、痛みがでることがあります。
また立ったり座ったりするとふくらむけど横になるとひっこむ、といった症状が特徴的です。脱腸は放っておいても改善することはなく、治療には手術が必要です。

外科で行う手術は主に 2 種類です。 1 つはふくらんでいる箇所の皮膚を 5cm ほど切って、筋肉をかきわけてすき間に網目状のメッシュをしく手術です。 2 つめに腹腔鏡での手術です。
腹腔鏡とはおなかの中にカメラをいれて、テレビ画面に映像を映して手術を行う方法です。3 カ所の孔(あな)をあけて、おなかの中に二酸化炭素のガスをいれてふくらませ、カメラと鉗子(かんし)という手術専用の道具を使い、おなかの膜をつかんだり切ったりはがしたりします。
内臓全体を包む「腹膜」と筋肉のあいだにすき間をうめるようメッシュを広げて置き固定して手術は終了です。
両方にそれぞれの良い点・悪い点がありますが、当科では症例それぞれに適切な手術を提供できるよう心がけています。両手術とも入院期間は 5 日間程度で、退院後は手術前とほとんど同じ生活が可能です。

腹腔鏡下手術の様子

足のつけ根が**ぷくっと**ふくらんで気になるという方は、**そけいヘルニア**かもしれません。
お悩みがあればいつでも外科にご相談ください。

救急科

５月より当院に異動になりました新任の医師をご紹介いたします。

新任医師紹介

救急科医長
濱谷　英幸

このたび本年 5 月より滝宮総合病院救急科に赴任しました濱谷英幸と申します。私はこれまで香川大学医学部附属病院救命救急センターにて救急・集中治療を行ってきました。救命センターでは重症疾患のみを扱うため、患者様が命の危機を脱した後は各診療科へ移ってしまいます。その中で私が感じていたのは、重傷の時期しか診療しないことへの物足りなさでした。外来から入院、そしてまた外来と最初から最後まで一貫して患者様を診療する、ある意味当たり前の診療というものを改めて実践したいという思いから、この滝宮総合病院にて**救急科**を立ち上げるに至りました。

滝宮総合病院救急科では、救急車受け入れはもちろんのこと、総合診療的な立場で内科・外科を問わず幅広い患者様を診療したいと考えております。また、当科を受診した患者様が専門家診療を必要とするならば、専門科へのスムースな橋渡し役としてもお役に立てるものと思います。まだまだ若輩者ではありますが、滝宮総合病院の一員として地域の皆様のお役に立ちたいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。

家庭でできるリハビリプログラム

嚥下体操

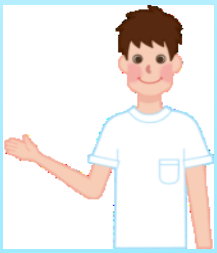
リハビリテーション科
言語療法士　　浅野由美

嚥下するためには口の機能だけではなく、首の筋肉や呼吸筋、様々な筋肉を使っています。もちろん、誤嚥を防止するためには口の体操も必要ですが、今回は首の体操と息を意識的に吐くことの **2 つ**を紹介します。口の体操と合わせて行ってください。また無理のないよう行ってください。

POINT

② 寝た状態から首だけを持ち上げる(首の筋肉を鍛えます)
肩を床につけたまま頭だけを足の指が見えるまで持ち上げる。
疲れない程度で 30 秒程度持ち上げ、休憩を入れながら 5～10 回繰り返す。

① 吹き戻しを使って息を吹く（強い咳ができるように、呼吸筋を鍛えます）
勢いよく吹いてください。
ぷーぷーっと５回吹いたり、ぷーーっと５秒間、10 秒間と吹き続けてください。



お薬コラム　糖尿病について

薬剤部　馬場　皓平

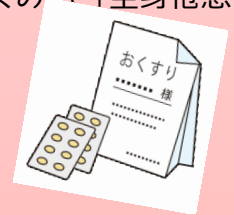
◎糖尿病とは

糖尿病とはインスリンと呼ばれる血糖値を下げるホルモンが分泌されにくくなったり、インス[illegible]されるが効きが悪くなるなどのインスリンの作用が低下する疾患です。

「1 型糖尿病」、「2 型糖尿病」、「特定の薬剤や疾患を原因とするもの」、「妊娠糖尿病」の 4 つに分類されます。中でも 2 型糖尿病の患者数は全糖尿病患者さんの 95%以上を占め、食生活の欧米化や高齢化などによって増加しています。2 型糖尿病は進行がゆっくりで、発症しても気付きにくいのも特徴のひとつです。

◎2 型糖尿病の症状

血糖値が高い状態が続くと「多尿」、「多飲」、「口渇」、「体重減少」、「倦怠感」などが知られていますが、中にはこれらの症状がないまま糖尿病が進行し、「足のしびれ」、「視力の低下」、「飛蚊症」、「むくみ」や「全身倦怠感」などの合併症の症状を自覚してようやく受診となる場合もあります。



◎2 型糖尿病の治療

2 型糖尿病の治療は『**運動**』『**食事**』『**薬物療法**』の 3 つです。

薬物療法では、「体内で糖を作らせにくくする薬」、「インスリンの効きを良くする薬」、「食事由来の糖を吸収しにくくする薬」、「尿中に糖を排泄するのを助ける薬」、「インスリンの分泌を助ける薬」、「血糖値が高くなった時に血糖を下げるのを助ける薬」などがあります。

薬剤の選択は高血糖の程度、年齢、肥満の程度、慢性合併症の程度、肝・腎機能、体中で出ているインスリンの量やインスリンの効きにくさなどを考慮して処方されます。

◎低血糖症状に注意！！

糖尿病では、血糖を下げる薬が効きすぎたり、激しい運動をしたりすると、
血糖値が下がり過ぎて『低血糖』という症状になってしまう事があります。
低血糖症状は血糖値が下がるに従って、「発汗」、「動悸」、「頻脈」、「顔面蒼白」などの症状から始まり、「頭痛」、「眼のかすみ」、「あくび」、「傾眠」に進行し、昏睡状態や脳に障害が残る事もあるため注意が必要です。
気になる事がありましたら、主治医の先生にご相談下さい。

QR・ドメックHPアドレス
JA香川県厚生農業協同組合連合会
滝宮総合病院
〒761-2393 香川県綾歌郡綾川町滝宮486番地
Tel 087-876-1145(代)　Fax 087-876-1302
HPアドレス http://www.takinomiya-hp.com
TAKINOMIYA
滝宮総合病院　検索